



# ネイチャーセンターだより

2019年11.12月号

## 新・いきもの図鑑



### クロガモ (カモ科)

冬鳥として秋に渡来します。渡り直後のカモ類は、換羽中のためにオスもメスとの見分けがつかないほど地味な姿をしていますが、本種は、目立った季節的な羽衣の変化がないので、識別に迷うことはありません。オスの鳴き声は、「ピーー」とやや長く伸ばす口笛のような声で、どこかもの悲しげです。メスと1年目の個体は、本州など、より南方で過ごします。根室湾で冬を過ごすクロガモたちは、1羽のメスを7～8羽のオスが取り巻き、求愛行動をします。この季節は、毎年つがいを代える彼らにとって、翌春の繁殖相手を見つけられるかどうか大事な時です。

#### 【参考文献】

中村登流.1995. 原色日本野鳥生態図鑑 (水鳥編)  
氏原巨雄ほか.2015. 決定版日本のカモ識別図鑑

## アカエゾマツコースにクマガラが出現

10月14日、行事「春国岱・秋のハイキング」の際、11時過ぎにアカエゾマツコース終点のあたりで、オスのクマガラ1羽が出現しました。「キョーン」という声が聞こえ、一部の人にはアカエゾマツの幹をつつく姿も観察。行事には学生時代クマガラを研究されていた荒哲平さん（日本野鳥の会野鳥保護区事業所の職員）が参加されていて、いち早く気づいて教えてくれました。

10月18日にも同じ場所でオス・メス各1羽を撮影され、この他にも声を聞いた方がおられました。荒さんによれば、10月の中・下旬は今年生まれの子どもが親と一緒に繁殖地から少し離れた場所にも出現する時期とのこと。近隣の家族が足を伸ばしていたのかもしれませんが。

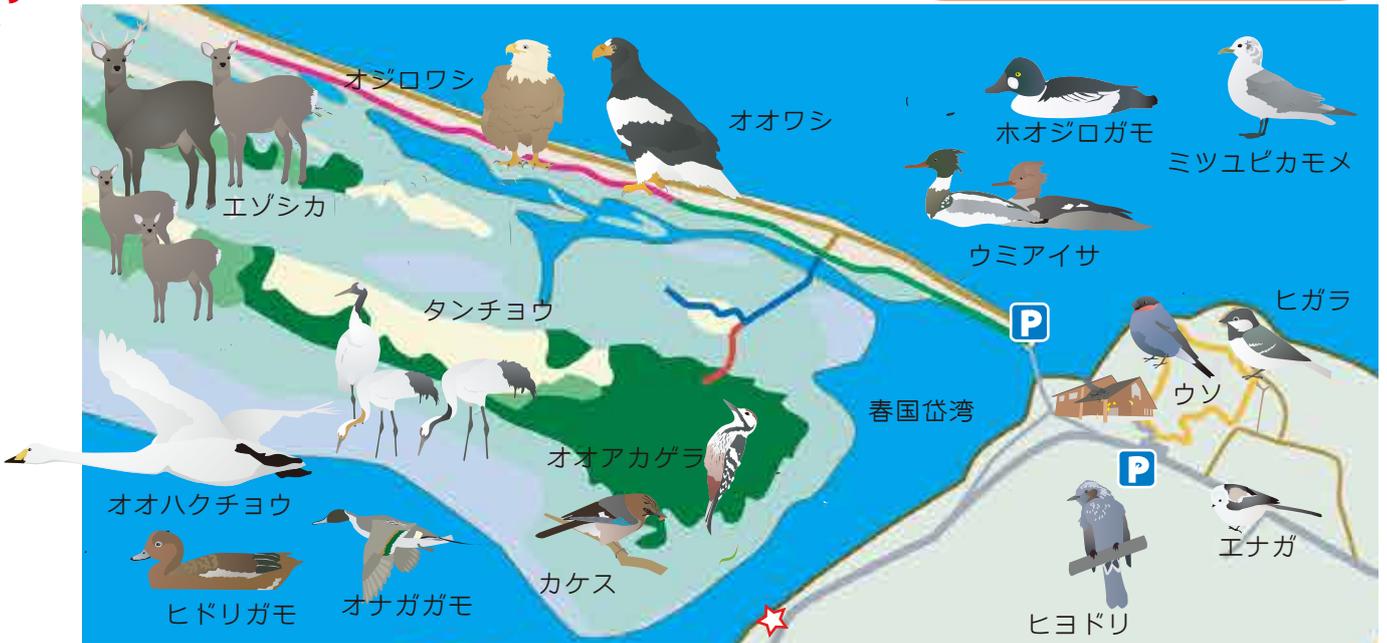
春国岱では昨年6月にも1回だけクマガラを記録していますが、その前は2012年の6月と10月に1回ずつの記録があるだけで、5年もの空白期間がありました。



写真は2013年に温根沼で撮影されたオスのクマガラ

# 見どころMAP

ねむろ	日の出	日の入
11/1	5:52	16:10
12/1	6:29	15:43
12/22	6:47	15:45 (冬至)



- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

## 11-12月の見どころ予報

### 凡例

- ◎ ぜったい見られる (と思う)
- ちょっと気をつければ見られる
- + よーく気をつければ見られる
- ・ めったに見られない

オオワシ オジロワシ	11月	+	今季は10/21に、ねむろトコロジストの会の方がオオワシを北方原生花園にて確認されている。春国岱では飛来数が多くなるにつれて、見られる機会が増えてくる。
	12月	○	
タンチョウ	11月	○	春国岱周辺には、成鳥1つがいと成鳥2羽幼鳥1羽の家族群が2組いる。湖面に氷が張り、食べものが探せなくなると、釧路湿原の鶴居村などの給餌場に移動する。
	12月	+	
オオハクチョウ	11月	◎	2019年10月19日に実施した飛来数調査では、風蓮湖と温根沼合わせて1,092羽を確認。11月中旬頃が飛来数最大となる。風蓮湖に氷が張り始めると、厚岸湖や東北・北関東地方へ渡る。
	12月	○	
カモ類	11月	○	特にヒドリガモ・オナガガモ・スズガモが多い。ほかにマガモ・ハシビロガモ・コガモ・クロガモ(沖)・ホオジロガモ・ウミアイサなどが見られる。オオハクチョウと同様に、風蓮湖に氷が張り始めると南の地方へ渡る。
	12月	+	
カモメ類	11月	◎	オオセグロカモメが多い。夏鳥のウミネコに代わって冬鳥のシロカモメ・ユリカモメ・ワシカモメが増えてくる。波が高く大荒れだった2019年10月12.13日は、約100羽のミツユビカモメが春国岱湾周辺で見られた。
	12月	○	
小鳥・キツキ類			ハシブトガラ・シジュウカラ・ヒガラ・ゴジュウカラ・キバシリ キツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)は周年見られる。

## ネイチャーセンターの剥製のワシの種類について

ネイチャーセンターの展示で「オジロワシ」と表示していた剥製が、オオワシの間違っていたことが判明し、このほど修正いたしました。

この発端は9月末に来館された方から、【センター玄関に入って正面右奥にある剥製がオジロワシと説明があるが、どう見てもオオワシ（成鳥ではない）だと思ふ】とのご連絡をいただいたことです。急いで、オジロワシとオオワシの違いを、形態や計測値などが詳しく載っている山階芳麿さんの図鑑で調べたところ、次の表のような違いがありました。

センターの剥製は尾羽の枚数が14枚、尾の長さが305mm、嘴の長さが77mmもありましたので、やはり正しくはオオワシであると判明しました。

間違いのおおもとはおそらく、この剥製の個体が幼鳥で、オオワシにしてはややうすい色をしていたためではないかと思えます。嘴や足の色がオジロワシのよううすい黄色に塗られていますので、剥製の作成時にすでにとりちがえていた可能性がありますが、思い込みできちんと確かめていなかったことを反省しています。

貴重なご指摘をくださった今野怜さんに、この場を借りて改めてお礼を申し上げます。

	尾羽の枚数 (枚)	尾羽の長さ (尾長) mm	くちばしの長さ (露出嘴峰長) mm
オオワシ	14	311-400	72-73.5
オジロワシ	12	225-280	45.5-55
イヌワシ	12	310-347	37.5-44



出典：山階芳麿. 1941. 日本の鳥類と其の生態 第2巻.

## 春国岱クイズ

「春国岱・秋のハイキング」の際、参加者により、久しぶりにクマゲラが観察されました。実は5月26日の「春国岱バードウォッチング」の際に、アカエゾマツコースでクマゲラの大好物が見つかったのですが、その大好物とは、なんだったのでしょうか？

- ① 小魚
- ② 小鳥
- ③ アリ



# 春国岱ネイチャーセンターのイベント情報！

事前にお申し込みが必要な場合は、お電話またはメール、直接ご来館ください。

お申込みの際は、参加者全員のお名前、ご連絡先、小中高生の方は学年もお知らせください。



秋は鳥たちの渡りの季節です。オオハクチョウやカモが集まる風蓮湖岸の道の駅で、鳥たちの生活を観察します

## 「オオハクチョウ観察会」

11月17日（日）

10:00～12:00

荒天時は室内から観察します

対象：バードウォッチングに興味のある小学生～おとな  
(小学生は保護者が同伴してください)

集合：道の駅スワン 44ねむろ

定員：20名（先着）

持ち物：上下暖かい服装・長ぐつ・手袋・帽子・筆記用具  
お持ちの方は双眼鏡（貸出しあります）

保険代：100円



募集中!

## ボランティアグループ

### 「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを募集中です。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月末に1回ミーティングを行い、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画・実施したりしています。

熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のあるかたはご連絡ください。

◆対象：年齢18歳以上の方

◆年会費（保険料）：1,000円

## フィールドマナーを守って

自然をこわさず、生きものたちが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないでください
- 動植物を傷つけたり取ったり持ち帰ったりしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 春国岱及びネイチャーセンターの敷地内は禁煙です
- 春国岱駐車場から先は、許可を受けていない車両の乗り入れは禁止されています
- ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

クイズのこたえ ③ アリ アカエゾマツコースの終点で、ムネアカオオアリという、森の中に大きな巣をつくる種類のアリを見つけしてくれた人がいました。

参考文献 藤井忠志. 2014. 日本のクマゲラ. 北海道大学出版会.



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地（3月まで開館9時～16時半）

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu\_nc@marimo.or.jp

URL. [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

日々の最新情報は、フェイスブックをご覧ください。

<https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日：11月5・6・13・20・25・27日

12月4・11・18・25・29・30・31日～1月3日

◆団体でご利用の方へ（要事前申込）

自然観察や室内でのレクチャー、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録